

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月12日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 高田初枝・山田周司・城浦君恵・相馬祐子・加藤千尋
田野和良・武田浩幸・大竹口悦子・佐々木久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		3	6		9
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	4	3		9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	8			9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	2	5	2		9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	6	2		9

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	・ケアマネジャーと担当職員が連携し、アセスメントや支援内容の検討をしていく体制を整える
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない ・ケアマネジャーと担当職員の連携は不十分だったが、アセスメント表の作成や情報共有は都度行っている
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・担当職員を決めていない時期もあったが、担当が割り振られてからはアセスメント表の作成をしている ・少し遅いこともあるが、利用者状況を確認することができる ・利用者状況等をミーティングで共有できている
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・利用者の情報や支援内容などがわからないことがある ・ケアマネジャーと担当職員の連携が取れていない ・支援内容の検討は不十分だが、その都度行っている

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること ・ケアマネジャーと職員間の情報共有が不十分な点 ・利用開始までに情報が間に合わず、職員間での共有ができていない点 ・家族と関わる機会が少ないため、関係性を作ることができていない ・利用者の必要とする支援をできていないと感じることがあった
------------------------	---

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・ケアマネジャーと担当職員が連携し、アセスメントや支援内容の検討をしていく体制を整える(継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月12日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 高田初枝・山田周司・城浦君恵・相馬祐子・加藤千尋
田野和良・武田浩幸・大竹口悦子・佐々木久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4	5		9
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	4		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	3		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	4		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	4		9

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	・「～したい」を実現するために、ケアプランの見直しとそれに向けた関わり方の検討をしていく
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
	・目標の把握を進めながら関わりを持つことが概ねできている
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
	・利用者の要望、願い等を個別に聞きとり、その声に応えられている
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
	・ケアプランを見るのが少なく、その人個人のゴールを把握できていない面もある ・中には願いを表に出せず、意思を汲み取ることの難しい方もおられ、どのように願いや思いを引き出せるかということが課題である

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	・今一度、スタッフによるケアプランの見返しが必要である。利用者のゴールを明確にすることにより、ケアの統一、一本化を図れるのではないかと、さらにはサービス向上のための第一歩になると考えられる

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・「～したい」を実現できるよう、ケアプランの再確認を行うことでケアの統一を図る

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月12日

3. 日常生活の支援

メンバー 高田初枝・山田周司・城浦君恵・相馬祐子・加藤千尋
田野和良・武田浩幸・大竹口悦子・佐々木久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	7	1		9
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		1	6	2	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	5	1		9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	6	2		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	5			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	6	1		9

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	・一人一人に寄り添う支援を行えるよう、聞き取り出来た内容の共有に努める		
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている D:まったくできていない	B:おおむねできている	C:あまりできていない
・日々のミーティング等において、情報の共有に取り組んでいる			
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・聞き取った内容について、ミーティング等を通じて共有できるように努めている		
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・一人ひとりに寄り添う支援は、会話をする時間を上手に作れず、深く理解するに至っていない		

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症状の変化等から、利用者の訴えを汲み取れないことがある ・朝、夕の申し送りや報告し、情報の共有に努めているが、ケアの改善につながるまでに時間がかかる 	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・聞き取り出来た内容の共有に努め、それをケアの改善につなげる

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月12日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	高田初枝・山田周司・城浦君恵・相馬祐子・加藤千尋 田野和良・武田浩幸・大竹口悦子・佐々木久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1	4	4		9
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	1	1	9
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	2	1	9
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	2	1	9
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		5	3	1	9

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	・楽しみを持って暮らしていただけるよう、利用者と地域の方々との関わりを意識した支援に努める		
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている	B:おおむねできている	C:あまりできていない D:まったくできていない
・地域の方々との関わりは、陽だまり喫茶やオレンジカフェ、地域協働防災訓練に参加していただくなどで交流の機会を持つことはできた			
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・陽だまり喫茶、オレンジカフェなど地域の方に来所していただけるようにしている ・施設行事等を通じて、地域の方々との関わりを持っていただけるようにしている 		
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりを意識した支援は十分に行えていない ・一人ひとりの楽しみに合わせた支援はできていない ・外部の方に慰問等の依頼をし、関わりを持っていった方がよいのではないか ・喫茶やカフェは定例となっているが、決まった方の参加がほとんどであり交流がすすんでいない 		

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・外出する機会が少なく、散髪等も通所中に訪問カットで切ってもら方が多くなっている ・そもそも地域の資源を理解できていない ・地域との関わりが薄い ・有償運送のサービス利用者が増え、家族と外出される機会なども減ってきている ・天気の良い日に農家さんに来てもらえれば、会が活発になると思う 	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・地域だけでなく外部との交流を行うことで、楽しみを持って生活を送れるよう支援をしていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月12日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 高田初枝・山田周司・城浦君恵・相馬祐子・加藤千尋
田野和良・武田浩幸・大竹口悦子・佐々木久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2	6	1		9
② 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	6		9
③ ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5			9
④ 日々の関わりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	7			9
⑤ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7			9

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・家族との情報を共有し、利用者が住み慣れた地域での生活が継続できるよう気付きや変化を見逃さず支援していく。	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
・連絡ノート、LINE ワークス等を活用し、家族と情報共有をすることで、ニーズに合わせた支援が出来ている	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
・本人、ご家族の状況に応じて必要なサービスや支援が提供できている。 ・連絡ノート、LINE ワークスなどで、家族と共有し、ニーズに合わせた支援ができている ・利用者の体調に特変があった際は、一人で決めず管理者やNSに説明をし対応している	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
・家族の情報のわからない方や連絡のとりづらい家族もいる ・利用者の体力低下があり散歩等できればと思うが、環境が整わず、個別対応できるスタッフもいない	

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・お盆やお正月に一度も帰宅できていない利用者の家族への働きかけが不足していると思う ・地域の資源を使う支援 ・職員の経験年数の違いや職種、考え方の違いから、利用者に対する思い、支援が違う	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・家族や地域の方々との連携を密にし、柔軟な支援を行える体制を整える

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月12日

6. 連携・協働

メンバー 高田初枝・山田周司・城浦君恵・相馬祐子・加藤千尋
田野和良・武田浩幸・大竹口悦子・佐々木久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	4	1	3	9
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	1	1	3	4	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1			8	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?		1	2	6	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3	2	4	9

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	・地域の相談窓口として地域を知り、地域での困りごとなどを吸い上げていく体制作りをしていく	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない	・陽だまり喫茶やオレンジカフェには地域の方は参加してくれている
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・陽だまり便りの配布 ・民生委員とは連携をとっている ・夏祭り、忘年会を実施した	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・民生委員が誰なのかわかっていない ・地域の方との交流はなかなかもてない ・利用者が高齢になり、参加する人も限られている ・職員の人数から、小学校の学芸会を観に行けなかった	

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ5類移行で少しずつイベント等も開催されるようになってきており、地域の方との交流の機会を持つことができたら良い ・会議には管理者や補佐の出席が多く、出席することがない ・運営推進会議には職員が交代で出席してはどうか? 	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の相談窓口として地域を知り、地域での困りごとなどを吸い上げていく体制作りをしていく ・会議に参加できない職員にも、議事録等の周知を行うことで、スムーズな連携を行える体制を作る

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月12日

7. 運営

メンバー 高田初枝・山田周司・城浦君恵・相馬祐子・加藤千尋
田野和良・武田浩幸・大竹口悦子・佐々木久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	7			9
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	8			9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	1		9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	3	2	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	4	2	2	9

II. 前回の改善計画に対する取り組み状況

① 前回の改善計画	・会議には全員意識を持って参加し、意見するときは提案する形で行う(継続) ・理念や部門の目標を意識して日々の業務に努める		
② 前回の改善計画に対する取り組み結果	A:よくできている D:まったくできていない	B:おおむねできている	C:あまりできていない
③ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できている点	・部門の目標を意識した業務への取り組みや会議への参加をなんとかできている		
④ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できていない点	・部門の目標は毎日のミーティングで、理念等は会議の中で朗唱できている ・事前に配布される資料を確認し、会議で提案する形で意見できている		
④ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できていない点	・パート職員の会議への出席が3カ月に1度と変更になったため、意見を聞く機会が減った ・自分自身に余裕がなく、寄り添っているとはいえない ・地域の方々と話をする機会、意見を聞く機会がない		

III. 現状の取り組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・地域との協働や意見を反映した運営はできていない。 ・午前のレク活動の準備について、朝遠くの送迎から戻ってきた後に準備や考えたりするひまがない ・訪問や通院介助が重なると、職員が手薄になりバタバタしてしまう	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・会議には全員意識を持って参加し、意見するときは提案する形で行う(継続) ・理念や部門の目標を意識して日々の業務に努める(継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月12日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 高田初枝・山田周司・城浦君恵・相馬祐子・加藤千尋
田野和良・武田浩幸・大竹口悦子・佐々木久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	5	2		9
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	7		1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	2		9
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	1	6	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	1		9

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	・研修の積極的な参加と感染症対策の内部研修の実施をしていく ・ヒヤリハットで繰り返す事例については、職員全員に周知意識づけを継続し改善後に評価をする(継続)		
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている	B:おおむねできている	C:あまりできていない D:まったくできていない
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・研修に参加し、スキルアップに努めている。 ・特に薬のヒヤリ、ハットが少なくなった ・リスクマネジメントに取り組んでいる ・資格取得に向けた研修に参加した		
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・他の職員が関わるヒヤリハットも気づいたときは書いているが、本来ならその職員が書くものと思う ・感染症対策の内部研修、ヒヤリハット改善後の評価を実施できていない		

III. 現状の取組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・地域連絡会へ参加する機会がない	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・感染症対策の内部研修の実施をしていく ・ヒヤリハットの改善後に評価をする
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月12日

9. 人権・プライバシー

メンバー 高田初枝・山田周司・城浦君恵・相馬祐子・加藤千尋
田野和良・武田浩幸・大竹口悦子・佐々木久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	5			9
①	身体拘束をしていない	9				9
②	虐待は行われていない	9				9
③	プライバシーが守られている	5	4			9
④	必要な方に成年後見制度を活用している			3	6	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	4			9

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・スピーチロック(言葉での抑制)を意識して利用者と接する	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
・概ねできているが、不十分な部分もある	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
・スピーチロックを意識した対応を心掛けている	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
・敬語で話していない時がある ・少しきつい口調で利用者と接している人がある ・スピーチロックに対する認識が薄い職員がいる ・自分の何気ない声掛けの中にもスピーチロックがある	

III. 現状の取組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・成年後見制度に関わる機会がなく、よく理解できていないところがある ・トイレの構造上、プライバシーの配慮を十分に行うことが難しいこともある	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・スピーチロック(言葉での抑制)を意識して利用者と接する (継続)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本別町社会福祉協議会	代表者	会長 砂原 勝	法人・ 事業所 の特徴	本別町社会福祉協議会が運営する事業所。 本別町市街地からは離れた所に立地している。 地域住民の方々の理解と協力を得ながら運営しており、利用者の方々の住み慣れた地域 で生活していただくという考えのもと、地域密着型の介護保険事業所としてその機能を 担っている。
事業所名	仙美里小規模多機能型居 宅介護事業所 「陽だまりの里」	管理者	管理者 高田 初枝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	7人	人	人	1人	人	4人	1人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
事業所自己評価 の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の改善計画を基に、実効性のある具体的な行動を起こせるよう、問題点や改善点を話しあう時間を作り、職員間の情報共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体会議の中で業務改善へ向けた取り組みを話し合い、職員間で情報共有することができた。 		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが問題点や改善点について考え情報共有を行い、それを基に月に1つずつでも具体的な改善事項を実施していくことで更なる業務改善へとつなげていく。
A. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 施設内だけでなく、車庫や倉庫の整理を行うことで事業所全体の環境改善を図る。 さらなる ICT の活用を推進できるよう、内部研修を行い、職員の理解を深めていき、ペーパーレス化、事業所の整理整頓を推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内の会議において、環境の改善や経営改善に向けての話し合いを行い、会議に参加できなかった職員に対して周知を行っている。 LINEWORKS を活用した情報交換や周知を行うことで、速やかな情報共有へつながっている。今後はこの取組みを活かし、ペーパーレス化、事業所の整理整頓に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議や行事以外で来所する機会がなく、しつらえや環境を見る機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き敷地内の整理を行い、環境改善に努める。 更なる ICT の活用が行えるよう、職員間の連携や内部での研修を進めていく。 業務上必要な書類はすぐに閲覧ができるように整理する。
B. 事業所と地域の かかわり	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き陽だまり喫茶やオレンジカフェを開催することで、地域の皆様とのつながりや相談体制を強化していく。 陽だまり便りの配布地域の拡大をすることにより、陽だまりの里をより多くの方々を知っていただき、地域との連携を強化していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 陽だまり喫茶やオレンジカフェの開催やお便りを通して相談体制の周知を行っている。 お便りの配布地域を拡大したことによって、陽だまり喫茶等へ新たに参加をしていただける方も増えており、今後も地域との連携を強化していけるよう周知を継続している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流の行事の際に、地域の方への連絡がしっかりとできていないことがあったので、今後注意をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き陽だまり喫茶やオレンジカフェを開催することで、地域の皆様とのつながりや相談体制を強化していく。 地域の皆様との連携を強化できるよう、報告、連絡、相談がしっかりと行える体制を整える。
C. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 管理者やケアマネージャー等が地域を訪問する機会を増やし、サービスを直接説明したり、ちょっとした相談を受ける機会を増やしていく。 「体験会」等、事業所のサービスをお試しできる機会を設ける。 陽だまりの里を利用するメリットや楽しさを目に見える形（動画等）でアピールしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に訪問をして、サービスの説明や相談を受ける機会を設けることはできておらず、引き続きお便り等を通じた相談体制やサービスの周知は行っている。 新規の利用者に対する体験通所については常時行う体制が出来ているが、「体験会」等のサービス紹介などをできる機会の提供までは行えていない。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に職員が積極的に参加することで、相談へとつながる機会を増やす。 陽だまり喫茶やオレンジカフェ以外にも、気軽に来所いただき見学ができる機会を設ける。 社協のホームページを活用し、動画などによる事業所のアピールを行っていく。 管理者やケアマネージャーが地域を訪問する機会を増やし、事業所の説明、相談を受ける機会を増やしていく。

<p>D. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に必要とされる施設を目指し、運営推進会議委員の皆様と支援の手が必要な方へと適切なサービスが届けられるよう、さらなる連携や情報共有を図っていく。 ・民生委員等から情報を受けた時などは、誰から情報を受けたかを伏せ、定期巡回の形をとって訪問したり、民生委員とともにケアマネージャーが訪問するなど、適切な対応を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の中で地域の困りごとや支援が必要と考えられる方の情報共有を継続して行っている。 ・支援が必要となる可能性がある家庭へ定期巡回の形をとって毎週訪問を継続している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員として地域と関わりを持つとしても個人情報保護の観点から関わり自体が難しくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き運営推進会議委員の皆様、民生委員の皆様との連携をするために地域での困りごとや支援が必要と思われる方の情報共有を図っていく。
<p>E. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・策定した業務継続計画の周知と、計画のさらなる充実を目指した協議を運営推進会議や地域の自治会の皆様と進めていく。また、計画に基づき、水害時の避難を含め、地域協働の災害時避難訓練を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画、非常災害対策計画、避難確保計画、消防計画を合わせ「災害時等業務継続計画（BCP）」を策定した。 ・水害時の受入先・連携先についても計画に盛り込み、本年度中に各関係機関と打合せの上、協定するよう進めている。 ・火災時の訓練の他、策定したBCPの中の「水害時等避難訓練マニュアル」に基づき、水害時の避難訓練を実施した。 ・感染症発生時のBCPについても、本年度中に策定できるよう進めている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・策定した業務継続計画（BCP）（非常災害対策計画）を、運営推進会議委員の皆様にも周知し、実践的な計画にしていくため、火災の際の自治会の協力を含めた避難訓練を実施していく。また、水害時の地域の協力の在り方や運営推進委員長の役割などを具体的に検討していく。 ・水害等の緊急時には、旧養護老人ホーム等の活用も視野に町と協議を進めていく。